

Osaka city Education Network

OEN

子どもたち・学校・先生のための

「オーエン団」




活用事例集




令和7年11月

	実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
	11月5日	中之島中学校	株式会社ロイヤルホテル	出前授業	ホテルが大切にしている接客
	11月7日	生魂小学校	大阪府赤十字血液センター	出前授業	献血について
	11月8日	瓜破北小学校	株式会社LIXIL	出前授業	家の中の安全について考えよう
	11月12日	平野北中学校	eスタジアム株式会社	体験活動の提供	eスポーツに関する職場体験
	11月13日	関目東小学校	大阪府医師会 (講師: くぼたこどもクリニック 久保田医師)	出前授業	児童生徒のこころのケア 「友だちとけんかしたときに、どうしたらいいか」

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧ください

	実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
	11月13日	西中島小学校	株式会社毎日放送	出前授業	MBS出張授業「テレビ局の仕事について」
	10月22日 11月10・14日	平野北中学校	パーソルホールディングス 株式会社	出前授業	“はたらく”を考えるワークショップ 「職場体験前後プログラム」
	11月6・14日	福小学校	パーソルホールディングス 株式会社	出前授業	“はたらく”を考えるワークショップ_2Days カスタマイズ
	11月14日	此花中学校	大阪海上保安監部	出前授業	大阪海上保安監部の職業講話
	11月17日	茨田北小学校	大阪大学 人間科学研究科 准教授 後藤 崇志	出前授業	カードゲームを使って目標達成の方法を学ぶプログラム

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧ください

	実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
	11月18日	関目東小学校	淀川管内河川レンジャー	出前授業	「水害から身を守るために」防災学習
	11月18日	東三國小学校	神戸松蔭大学 教育学部 教授 秋山 麗子	教職員研修	特別活動授業の指導に関する指導助言（授業参観含む）
	11月25日	関目東小学校	近畿総合通信局 <small>（講師所属企業：NTT西日本株式会社 関西支店）</small>	出前授業	「e-ネットキャラバン」 ～安心・安全なインターネットの利活用を学ぶ無料講座～
	11月25日	啓発小学校	雪印メグミルク株式会社	出前授業	乳の食育 食育出前プログラム ①牛乳の大切さを知ろう！④バターづくりをしよう！
	10月17日 11月28日	桜宮中学校	パーソルホールディングス 株式会社	出前授業	“はたらく”を考えるワークショップ_2Daysカスタマイズ

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧いただけます

	実施日	実施学校園	連携相手	カテゴリ	テーマ
	11月28日	榎並小学校	株式会社毎日放送	出前授業	MBS出張授業「ニュースをはじめとする番組がどのように作られ、放送されているのか」
	11月29日	大宮小学校	大阪府医師会 (講師: くぼたこどもクリニック 生田心理士)	出前授業	児童生徒のこころのケア「メディアとどう付き合う？」
	9~11月	難波中学校	大阪管区気象台	その他	防災教育資料の提供

◆項目をクリックすると、学校園で実施した活用事例をご覧ください

ホテルが大切にしている接遇（出前授業）

取組実施日

令和7年11月5日（水）

実施学校園

中之島中学校

対象学年

9年

連携相手

株式会社ロイヤルホテル

取組内容

高校入試に向けた進路学習の一環として面接指導がある。しかし、コロナ禍以降高校入試における面接試験は減少の一途をたどっている。とはいえ、「丁寧な言葉遣いや所作」は、「面接」に限らず、社会人として、今後身に着けておきたい重要なスキルの一つである。そこで、今回は校区内にあるリーガロイヤルホテル様に、「丁寧な言葉遣いとは」、「お辞儀などの所作振舞い」についての講義に加えて、面接を模擬的に行うロールプレイも実施していただいた。

学校園の感想

リーガロイヤルホテルというサービス業で人材育成を担当している人事部の方に講師としてお話ししていただいたことにより、生徒自身も「丁寧な言葉遣いとは」、「お辞儀などの所作振舞い」について真剣に聞き入っていました。また面接のロールプレイも実施していただいたことにより、生徒自身も「どこにでも通用する面接作法」を少しでも身を持って体験できたのではないかと思います。

連携相手の感想

この度は中之島小中一貫校 へ『面接対策』の一環として「丁寧な言葉遣いや所作」についてお話しし、私どもも勉強になった。これから必要なテーマと一緒にロールプレイングも行えて皆様も真剣そのものであった。代表の方が実際に面接をなさったときは、周囲の方が積極的に温かいコメントを発表されていて感心した。皆さまの今後の面接、生活が、楽しく実り多きものになりますよう応援している。



献血について（出前授業）

取組実施日 令和7年11月7日（金）

実施学校園 生魂小学校

対象学年 5年

連携相手 大阪府赤十字血液センター

取組内容 大阪市教育局事務局が進めている「総合的読解力育成カリキュラム」における「未来の命を守ろう」の学習の展開として、教材文からの学びだけでなく、大阪府赤十字血液センターで働いている方の話を聴くことで、よりリアルで身近な学びとして学習を深めることができた。12月3日の校内研究授業においては、「未来の命」をテーマにした万博パビリオンを創造し、発表することで教材のめあての達成を図ることができた。

学校園の感想 児童の感想文を読むと、大阪府赤十字血液センターの方が、「日本では、輸血について学ぶ機会が非常に少ないが、これから皆さんが生きていくにあたって、輸血と献血の知識は学ぶべき大切なことである。」と述べられ、グラフや写真などを用いてわかりやすくお話しして下さったことを、自己の学びとしてしっかりと受け止めていた。担任からは、是非次年度の学習させるべき内容である、と聴いている。

連携相手の感想 このたびは、『未来の命を守ろう』というテーマの学習において、献血を取り上げていただき誠にありがとうございました。今ある命をつなぐことが、未来の命を守ることにつながるという視点を共有でき生徒の皆様にも、自分自身と他者の命・健康を守ることの重要性を認識していただけたのではないかと感じている。



家の中の安全について考えよう（出前授業）

取組実施日 令和7年11月8日（土）

実施学校園 瓜破北小学校

対象学年 3年

連携相手 株式会社LIXIL

取組内容 本校では、11月上旬の土曜日は毎年6年生が地域合同防災訓練に取り組んでおり、今年度は全学年で防災に関する授業に取り組むこととなった。そこで、3年生には家の中に潜む危険について学習し、帰宅後もワークシートで家庭でも普段の生活の危険について考える内容であった。

学校園の感想 児童が非常に積極的に発言・発表し、家の中の危険をたくさん見つけ、楽しく学習を進めることができ、3年生にも適した内容であった。LIXILのホームページにも安全教育に必要なコンテンツが掲載されており、今後も活用できる教材であった。実施して大変良かった。

連携相手の感想 児童の皆さんが非常に活発に意見を出してくださり、大変実りのある時間となった。

弊社では、実績のある学校様に繰り返し受講いただくことで、リスクリテラシーを一緒に醸成できればと考えており、また皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。



eスポーツに関する職場体験（体験活動の提供）

取組実施日 11月12日（水）

実施学校園 平野北中学校

対象学年 2年

連携相手 eスタジアム株式会社

取組内容 職場体験の実施前にアンケートをとったところ、IT関連の仕事を希望する生徒がおり、その中でも特にeスポーツに関心のある生徒の職場体験先として、2日間お世話になった。体験時間は10時から15時で、商品の陳列や清掃、eスポーツ体験など、充実した活動を行うことができた。

学校園の感想 今回参加した生徒の中には、eスポーツの選手をめざしている生徒もあり、ゲームのレクチャーをととても楽しんでおり、清掃活動や商品の品出し、陳列作業も有意義であったと感じていた。

ゲームが好きな人を支える仕事として、インストラクターやゲーム好きな人が集える場所を提供する仕事があることを知り、進路の選択肢が増えた。職場体験で自分自身が思い切りリアルに楽しむことができたからこそ、お客様に楽しんでもいただくために、どう働くべきかを考えることの大切さを実感できた2日間となった。

連携相手の感想 当日はイベント期間中ということもあり、通常の店舗営業とは異なり、少し慌ただしい環境での職場体験となった。

そのような状況の中でも、店舗スタッフと一緒に商品の品出しや棚卸、店内清掃など、現場ならではの業務を体験してもらうことができた。また、慣れない接客用語に戸惑いながらも、最後まで真面目に取り組む姿勢がとても印象的であった。今回の職業体験が、生徒の皆さんにとって「仕事と向き合う」ことを考える良い機会となれば幸いである。



児童生徒のこころのケア「友だちとけんかしたときに、どうしたらいいか」（出前授業）

取組実施日 令和7年11月13日（木）

実施学校園 関目東小学校

対象学年 4年

連携相手 大阪府医師会（講師：くぼたこどもクリニック 久保田医師）

取組内容

授業では「ともだちとけんかしたときに、どうしたらいいか」を題材に、子どもたちへの問いかけを通して進行された。内容としては、けんかなどの出来事そのものだけに注目するのではなく、「なぜ起こったのか」という背景を理解するために、お互いが自分の気持ちを伝え合うことの大切さを学んだ。また、子ども自身が「心の温度計」を持ち、うれしい・楽しいといった気持ちだけでなく、つらい・悲しいなどのネガティブな気持ちも大切にしていよいこととお話いただいた。

学校園の感想

講師からの一方的なお話ではなく、子どもたちへの問いかけを交えながら進められ、児童一人ひとりが自分の経験を重ねながら考える姿が見られた。また、日常の友だち関係に直結する内容であり、授業後は「気持ちを伝えることが大事だと分かった」「自分の気持ちをもっと大切にしたい」といった前向きな振り返りが多く見られ、今後の学級づくりや心の教育を進めるうえでも、大変有意義な学びとなった。大阪府医師会並びに講師の先生に、心より感謝申し上げます。

連携相手の感想

この度は貴重な機会をいただきまして誠にありがとうございました。
この時期にはお互いの思いがすれ違って喧嘩することもあるといいし、またその喧嘩から学んでいくことが大切だということをお話した。
自分の腹が立つ気持ち、悔しい気持ちを尊重してもらうからこそ、相手の気持ちも理解できるということ、そして小児科医はいつでも子どもの味方であることが伝わっていることを願う。



取組実施日 令和7年11月13日(木)

実施学校園 西中島小学校

対象学年 5年

連携相手 株式会社毎日放送

取組内容 2人の講師の方による授業で「ニュースが放送されるまで」についての講義・アナウンサー体験、「放送局の仕事」についての講義(講師の方の経験に基づいた)

学校園の感想 講師の方の経験談から放送局の仕事についてリアルに話していただいたので、子ども達も引き込まれて話を聞いていた。出前授業後には「テレビを観るとき、裏側のことも考えてみよう」「観てる人のために危険でも取材に行くなんてすごい」という声もあった。

連携相手の感想 児童のみなさんが、たくさんの質問をしてくれるなど、熱心にニュースや報道カメラマンの仕事について学ぶ姿に感心した。クマ出没の話から、情報を正確に伝える大切さや仕事の舞台裏に興味を持ってもらえて嬉しい。アナウンサー体験や多様なカメラ解説を通じて、体験的に学ぶ機会となったことに手応えを感じた。西中島小学校の皆様 ありがとうございます。



“はたらく”を考えるワークショップ「職場体験前後プログラム」(出前授業)

取組実施日 令和7年10月22日(水)、11月10日(月)、11月14日(金)

実施学校園 平野北中学校 対象学年 2年

連携相手 パーソルホールディングス株式会社

取組内容 はたらくを「自分のもの」にする力を身につけるため、努力し、行動を起こすことができるようになるためのプログラム。

学校園の感想

1回目は「働く」について仲間で考えた。最初、働くことに対して「つらいこと」「疲れること」「大変なもの」という意見もあったが、ワークショップやクイズに取り組み、授業の終わりには「楽しいもの」「自分の好きなこと」「やりがいがあるもの」などの肯定的な意見が多かった。生徒は「好きなことを職業として選んでもよい」「働くとは、価値を提供し、ありがたをもらうこと」ということを学んだ。

2回目は職場体験前のワークショップで、取組後には「安心して未来のことを考えることができた。間違ってもいいんだと元気をもらった。」「失敗しても積極的な行動が大切であるということ。主体的に行動する自分になりたい。」という感想があり、大いに勇気づけられた。

3回目は職場体験後のワークショップで、仲間とそれぞれの職場体験での学びを共有し、今後どう活かす考えた。「自分の気持ちの変化に気付けたこと自体が嬉しかった。」「失敗をしないことが大切なのではなく、失敗を恐れないことが大切である。」「働くということが、ありがたをもらうことなんだと分かった。」「働くということは人に笑顔になってもらうことなんだと知った。」という前向きな感想が多かった。

今回の取組で、仲間と対話を通して働くことの意味を考えることができ、チャレンジすることの大切さを知って勇気づけられ、生徒が描くいつか働く自分が、とても明るく楽しいカラーに彩られたことに感謝しています。

連携相手の感想

職業体験前に「何を得るのか」を明確にし、職場体験後に「得たものをどう活かすのか」を考えることで、日々の生活との接続に活かしていただける内容で実施した。生徒も良い顔でワークに臨んでいると感じ、特に職業体験後のワークでは、それまでの概念的な「はたらく」から、自分たちの内側から発せられる「はたらく」が言語化され、深みが増していたように感じた。今回の経験を経て、より良い人生の選択に繋げていただけると大変嬉しく思う。



“はたらく”を考えるワークショップ_2Days カスタマイズ（出前授業）

取組実施日 令和7年11月6日（木）、11月14日（金）

実施学校園 福小学校 **対象学年** 5年

連携相手 パーソルホールディングス株式会社

取組内容 世の中にある仕事にはどのようなものがあるか考え、予想以上の仕事があることを知る。
その中で自分に合った仕事を見つけていくことが大切であると実感する。
また、友だちや先生、家族との関わりの中で、信頼を得ることが重要であることを、「信頼貯金」という例を挙げて説明していただいた。
そして、変化の激しい社会を自分らしく輝けるために大切なことを講師の方の話から学ぶことができた。

学校園の感想 学校や家庭では、あまり関わる機会がない実社会で活躍している大人の方に、ワークショップを交えて講話していただけたのは大変良かった。児童たちも自分の将来のイメージを持つことができたと思う。当初は3回のワークショップを実施したかったが、時数の関係で2回になったので、来年度は計画通りに進めていきたいと考えている。来年度、また本校をよろしくお願いいたします。

連携相手の感想 ワークショップを通して、子どもたち自身が周囲から信頼を得るための行動を考えることができた。また、その多くが学校生活で実践できるもののため、小さな行動の積み重ねが子どもたちの自信につながることを期待したい。



取組実施日 令和7年11月14日（金）

実施学校園 此花中学校 **対象学年** 1年

連携相手 大阪海上保安監部

取組内容 海上保安官による職業講話を実施し、海難救助や安全確保の使命を学んだ。
さらに、養成学校での厳しい訓練や規律ある生活についての説明を受け、公共安全を担う責任感を深める貴重な機会となった。

学校園の感想 出前授業は、実社会の知識や経験を直接学べる貴重な機会である。
専門家の話を聞くことで、仕事の現場や必要な能力を具体的に理解でき、将来の進路を考える上で大きな刺激となる点が非常に良いと感じた。

連携相手の感想 中学1年生にわかりやすい言葉で伝えることが難しかったが、皆さん真剣に聞いてくれた。
今回の出前授業で海上保安庁のことを知り、将来の職業先を考える一つの選択肢の中に海上保安庁が入っていれば良いなと思う。



カードゲームを使って目標達成の方法を学ぶプログラム（出前授業）

取組実施日 令和7年11月17日（月）

実施学校園 茨田北小学校 対象学年 6年

連携相手 大阪大学 人間科学研究科 准教授 後藤 崇志

取組内容 4人が1グループとなり、「セルフコントロール」を目的にカードゲームを使用し擬体験をする。いくつかの「誘惑」に打ち勝つために書いてある文章を確認しながら手持ちのカードをきっていく。最後はワークシート（たこやきシート「達成したいこと」「こうなったらいいな」「やっちゃいそうなこと」「決めておきたいルール」）の項目ごとに自分の得た考えを記入し確認する。

学校園の感想 ゲームのルールが難しかったが、大学生の方が1グループに1人付き様子を見ながら指示してくれていたおかげで、慣れてくると会話したり、考えてカードを出したりと子どもたちだけでゲームを進めることができていた。将来の夢を持っている子が多く、ワークシートを書くことも躊躇せず進めることができていた。楽しそうにしていたので、来年度もぜひ行いたいと考えている。

連携相手の感想 児童の皆さんがとても明るく、積極的に楽しみながら取り組んでいただけた。アンケートでは、「ルールがややこしかった」という声もあったが、「目標にむけて目指すことをカードで楽しく学べて良かったです」「現実感があってやっちゃいそうなお誘惑に惑わされないようにするのがおもしろかった!」といった感想もいただけた。ゲームで学んだことを現実に繋げていただけたらと考えている。



「水害から身を守るために」の防災学習（出前授業）

取組実施日 令和7年11月18日（火）

実施学校園 関目東小学校

対象学年 4年

連携相手 淀川管内河川レンジャー

取組内容 講義では、住んでいる地域で水害が起こるとどうなるのかハザードマップを見て学び、マイタイムラインに避難行動シールを張る活動を通して自分たちの身を守るために「いつ」「何をすべき」なのかについて考えた。また、運動場に簡易プールを設置し、実際に濁った水の中を歩く浸水歩行体験を行った。

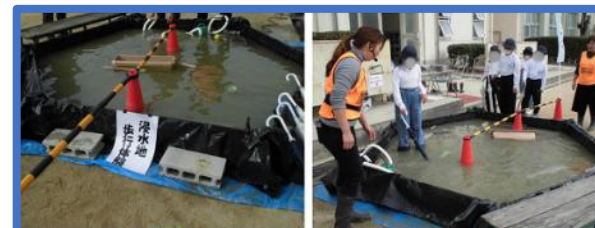
学校園の感想

講義では、自分たちの住む地域が水害発生時にはどのような状況になるのか、ハザードマップで説明いただき、自然災害を「自分ごと」として捉えるきっかけになった。また、「マイタイムライン」にシールを貼り、災害時の行動を自分で考える活動は非常に効果的で、防災への意識が高まり、家庭での話し合いにもつながる内容だった。

浸水歩行体験では、児童は「思ったより足が取られる」「見えないと怖い」と語り、濁った水の中を歩く難しさや恐怖を実感した。また、「家族とも避難について話し合いたい」「水の中はこんなに歩きにくいとは思わなかった」などの声が聞かれ、学びを生活に生かそうとする姿が見られた。講義と体験活動が組み合わさったことで、防災を深く考え、行動につながる大変有意義な学習となった。河川レンジャーのみなさまには、丁寧なご指導と準備に心より感謝申し上げます。

連携相手の感想

水害に対して講義と体験活動を通じて、児童のみなさまが自分の行動を具体的に想像し、災害への備えについて真剣に考える姿がとても印象的だった。水害を「自分ごと」として捉え、家庭での話し合いにもつながればと思う。防災への意識が高まったことは、私たち淀川管内河川レンジャーにとっても大きな成果と考える。



特別活動授業の指導に関する指導助言（授業参観含む）（教職員研修）

取組実施日

令和7年11月18日（火）

実施学校園

東三国小学校（実施場所：南大江小学校）

連携相手

神戸松蔭大学 教育学部 教授 秋山 麗子

取組内容

大阪市小学校教育研究会 児童会活動部の総合研究発表会 分科会Ⅰとして、代表委員会の話し合い活動を参観後、研究の進め方や話し合い活動について指導助言をいただいた。

学校園の感想

話し合い活動を含む特別活動の活動過程や活動のポイントから次期指導要領の方向性まで、経験年数の少ない教員も、特別活動を研究している教員も対象にした内容を、わかりやすく解説していただいた。
研究部としても、現在進めている研究を深めることができ、有意義であった。



取組実施日 令和7年11月25日（火）

実施学校園 関目東小学校

対象学年 5年・6年

連携相手 近畿総合通信局（講師所属企業：NTT西日本株式会社 関西支店）

取組内容 児童の身近なSNSの正しい使い方や、ネットに潜む危険などを学んだ。知識としては理解していても、巻き込まれてしまう可能性があるということや、そのときに自分がどのように行動すべきかということを考えるきっかけとなった。

学校園の感想 友達と意見交流をすることで、自分の考えと相手の考えに違いがあることに気付けた児童も多くいた。今後、児童にとってはより一層身近になってくると思うので、今回での学びを活かしていきたいと思った。

連携相手の感想 児童たちは積極的に発言し、互いに意見を交わす様子が見られ、自分事として捉えてもらえたと感じる。ネットは便利で、正しく使えば可能性が広がり、世界とつながることもできる。いまや生活に深く根付いた存在だからこそ、今回学んだことを忘れずに、安全に適切に活用し、視野を広げ、社会で役立つ力を身につけてほしい。



乳の食育 食育出前プログラム①牛乳の大切さを知ろう！④バターづくりをしよう！（出前授業）

取組実施日 令和7年11月25日（火）

実施学校園 啓発小学校

対象学年 2年

連携相手 雪印メグミルク株式会社

取組内容 給食に出る牛乳の栄養や牛乳が学校に届くまでの道のりについて学習。
実物大の牛のタペストリーやカルシウム量を視覚化するツール、動画視聴などによる学習。
バターづくりを行い、牛乳が自然の恵みであることや関わる人への感謝の気持ちを育む体験。

学校園の感想 児童が座学や体験を通して牛乳には私たちの体をつくる大切な栄養がたくさん含まれていることや、毎日の給食で牛乳が提供されている意味を理解することができた。牛乳が届くまでに多くの人が関わっていることもわかり、牛乳製造にかかわる人々への感謝の気持ちが醸成された。

連携相手の感想 質問も発表もとても元気よく参加くださる2年生であった。児童の皆さまにとって、とても身近な教材である「給食の牛乳」を通して、牛乳が母牛からのいのちの恵であることを感じたり、酪農や生産に携わる人へ感謝したりするきっかけとなっていたら嬉しい。そして、食べ物大切さに気づき、牛乳の飲み残し低減に繋がることを願っている。



“はたらく”を考えるワークショップ_2 Daysカスタマイズ（出前授業）

取組実施日 令和7年10月17日（金）、11月28日（金）

実施学校園 桜宮中学校 **対象学年** 1年

連携相手 パーソルホールディングス株式会社

取組内容 はたらくことについて考える授業を、次年度の職場体験につながる機会として講話およびワークシート方式で受けた。仕事の種類の学習、働くことの意義を考察する、大人へのインタビューなど、思考する時間がたくさん持てた。

学校園の感想 働くことの意義を考え、自分たちが今何を身に付け、どのような時間を過ごせばいいのかを考える入口となり、生徒たちも楽しみつつ学習していた。
また、「おとなインタビュー」において、大人の考えていることの一端を知ることができ、「ためになった」という感想を多くの生徒たちが書いていた。

連携相手の感想 大人インタビューでは、参加した我々パーソル社員にとっても、中学生が“はたらく”ことをどのように捉えているか、そこから自身が“はたらく”をどのように捉えているのか、などを振り返る貴重な機会になった。



MBS出張授業「ニュースをはじめとする番組がどのように作られ、放送されているのか」(出前授業)

取組実施日 令和7年11月28日(金)

実施学校園 榎並小学校

対象学年 5年

連携相手 株式会社毎日放送

取組内容 報道記者や番組ディレクターなどの人たちが、ニュースをはじめとする番組がどのように作られ、放送されているのか、その裏側をお話していただいた。また、本物のようなニュースのスタジオをつくり、児童がアナウンサーの体験をすることができた。

学校園の感想 子どもたちからは、次の感想があった。

- 1本のテレビをつくるのにこんな手間がかかると思っていなかった。放送するのにたくさんの人が関わっているんだなと思った。また、台本を見せてもらったときとても分厚いなと思った。
- いろいろな人が番組を作っているということは知っていたけど、出前学習によってさらにいろいろな人が一つの動画を成り立たせているということがわかってよかった。
- テレビ番組ができるには、実際に現場にいったりどのようなことがあるか確認したりしていたので、大変だと思った。

連携相手の感想

1コマ目の授業では、テレビ、ラジオ、スマートフォンなどの情報伝達媒体の紹介、ニュース番組がどのように作られるかなどの解説、アナウンサー体験を実施した。

アナウンサー体験では、4人の児童が挑戦し、4人とも、練習の成果が発揮され、素晴らしいナレーションを披露してくれた。2コマ目の番組プロデューサーによるテレビ番組についての授業でも、積極的に学んでくれて、楽しい出前授業となった。榎並小学校のみなさん、ありがとうございました。



児童生徒のこころのケア「メディアとどう付き合う？」（出前授業）

取組実施日

令和7年11月29日（土）

実施学校園

大宮小学校

対象学年

6年

連携相手

大阪府医師会（講師：くぼたこどもクリニック 生田心理士）

取組内容

メディアが心と体に与える影響を6年生対象の授業として行った。土曜参観の日であったので、希望する保護者も参加し、一緒にお話を聞いてもらった。スマホやゲームを日常的に使っている子どもたちに、「やめたくてもやめられない」依存の状態になることを脳科学の視点から教えていただいたり、どうしたら「依存」に陥ることなく、心と体の健康を保ちながらメディアと付き合うことができるかを考えたりすることができた。

学校園の感想

夜遅くまでゲームをして朝起きられない子、スマホが手放せず学習に集中できない子、使用時間を制限されイライラしている子、メディアが与える影響について学校としても大変心配していた。授業には、子どもたちにぜひ伝えてほしかった内容が盛り込まれており、スライドも使いながら大変わかりやすくご説明いただき、有意義な時間となった。子どもたちも集中して聞いており、最後にはゲームやスマホとの付き合い方を見直そうという気持ちになっていた。一緒に聞いていた保護者も何度もうなずきながら話を聞かれていた。来年度もぜひさらに多くの児童や保護者に向けてお話しいたきたい。

連携相手の感想

メディアとの付き合い方についてのお話や、架空の事例を基にしたグループワークを行わせていただいた。グループワークでは、児童の皆さんが積極的に参加してくれた姿が大変印象的であった。今回の授業が、メディア利用を見直すきっかけや新たな気づきに繋がっていれば幸いである。貴重な経験をありがとうございました。



防災教育資料の提供（その他）

取組実施日 令和7年9月～11月

実施学校園 難波中学校

対象学年 2年

連携相手 大阪管区気象台

取組内容 総合的読解力の学習について、テーマ「巨大地震から命を守る」について、大阪管区気象台の「防災教育資料の提供」としてホームページを活用して、調べ学習をさせた。大阪は、南海トラフ地震の影響を強く受け、浪速区は津波の被害が大きい地域であり、自らの命を守る学習として取り組んだ。

学校園の感想 東北地方や九州地方では、最近震度5強の地震があり、熊本地震からもまだ9年しかたっていない。

近畿圏では、阪神淡路大震災以後に生まれた生徒や教員も多数おり、「防災学習」の必要性は喫緊の課題である。

校内では、避難訓練をするものの、地域で生活しているときには、はたして適切な命を守る行動をとることができるのだろうか。

主体的な判断がとれ、命を守る行動をとれる学習をこれからもしていきたい。

